

第60回 歴史地理学会大会・総会プログラム

1. 期 日：2017年6月17日（土）・18日（日）および19日（月・巡検）

2. 会 場：愛知教育大学 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

ア ク セ ス：名鉄「名鉄名古屋」駅より名鉄名古屋本線「知立」駅下車。

知立駅前発の愛知教育大学前行きの名鉄バスに乘車、約20分で愛知教育大学前到着。

自家用車で入構もできます（正門のみ開放）。

学内駐車場の場所については、愛知教育大学HP内のキャンパスマップ

（<http://www.aichi-edu.ac.jp/campusmap/>）をご参照ください。

3. 日 程：6月17日（土） 10：00～12：00 研究発表会〔自由論題〕（第二共通棟）
12：10～13：00 評 議 員 会（第一共通棟115講義室）
13：10～13：50 総 会（第二共通棟1階411講義室）
14：00～17：00 第60回大会記念公開講演会（同上3階431講義室）
17：30～19：00 懇 親 会（第一福利施設・食堂）
18日（日） 10：00～16：30 研究発表会〔自由論題・共同課題〕（第二共通棟）
19日（月） 9：15～16：30 巡 検

4. 第60回大会記念公開講演会

演 題：小野寺淳（茨城大）「ある民間地図製作者の軌跡—横山大観の父酒井捨彦—」

溝口常俊（名古屋大・名誉）「古地図で語る郷土の歴史」

岩崎公弥（愛知教育大）「尾張藩士水野岷山の治水思想」

藤田佳久（愛知大・名誉）「幕末期に上海を訪れた日本人藩士たちと岸田吟香の行動空間」

会 場：愛知教育大学第二共通棟（3階431講義室）

参加費：無 料

5. 研究発表会

自由論題および共同課題「海からの歴史地理」

会 場：愛知教育大学第二共通棟

大会参加費：1,000円（当日、大会受付で資料集と引換えにお支払いください）。

6. 懇親会

会 場：愛知教育大学第一福利施設食堂

会 費：3,000円。ただし学生会員は2,000円（当日、大会受付にてお支払いください）。

7. 昼 食

17日（土）は学内生協食堂・売店が13：30まで営業しています。しかし、18日（日）は営業いたしません。学内の大会会場から最寄りのコンビニまでは800mほどあります。

8. 巡 検

テーマ：天下人家康による三河支配とその故地を歩く

集 合：6月19日（月） 9時15分、名鉄「知立」駅北改札口

コース：名鉄知立駅—（名鉄名古屋本線・西尾線利用）—本證寺（安城市野寺町）—（名鉄西尾線・名古屋本線利用）—名鉄東岡崎駅—大樹寺（岡崎市）—岡崎城公園（昼食）・見学—八丁味噌資料館—旧岡崎城下二七曲がり散策—東岡崎駅解散（16：30頃を予定）

案内者：岩崎公弥（愛知教育大）

参加費：無料（電車・バス代、昼食代、資料館入館料等を併せて約3000円が必要です）。

申 込：不要です。昼食場所の関係でおよその人数把握のため、事前に下記にお知らせいただけると助かります。

電子メール：kiwasaki@aeu.ac.jp（岩崎公弥研究室）

備 考：雨天実施。事情により、見学先が前後する場合があります。

9. 宿泊情報

名古屋駅周辺、JR三河安城駅、名鉄沿線の知立駅・新安城駅・東岡崎駅周辺等にビジネスホテルがあります。お早めのご予約をお願いいたします。大学の周辺には宿泊施設はありません。

10. 大会開催中（6月17日～18日）の緊急連絡先

愛知教育大学岩崎公弥研究室 電話：0566-26-2273または上記電子メールアドレス

〈大会実行委員会〉

岩崎公弥（委員長，愛知教育大），阿部亮吾（愛知教育大）

11. 研究発表会

◇6月17日 土曜日

●第1会場【自由論題】*は登壇者

第二共通棟1階（411講義室）

〔座長：川口 洋〕

101（10：00－10：30）東 昇*（京都府立大）・村山聡（香川大）：近世・近代対馬における地誌と村明細史料—編纂過程の比較史

102（10：30－11：00）武田周一郎（神奈川県立歴史博物館）：御用邸と景観変化—昭和初期の初声御用邸計画における立木調査と植樹について—

〔座長：椿 真智子〕

103（11：00－11：30）松井幸一（関西大）：石敢當分布を指標とした村落構造の一考察—沖縄県北部地域を事例として—

104（11：30－12：00）矢ヶ崎典隆（日本大）：アメリカ合衆国コロラド州のプラット川流域におけるテナサイ糖産業

●第2会場【自由論題】*は登壇者

第二共通棟2階（421講義室）

〔座長：服部垂由未〕

201（10：00－10：30）鈴木 修斗（筑波大・院）：近代期の福島県における海外移民の送出過程—安達郡石井村の事例を中心に—

202（10：30－11：00）豊田紘子（筑波大・院）：福島県南人口減少地域における「村の掟」とその変化—年齢条件と男性限定はどちらから崩れはじめるか—

〔座長：山近久美子〕

203（11：00－11：30）安藤哲郎（滋賀大）：近江の説話の舞台に関する考察

204（11：30－12：00）麻生 将（立命館大）：ミッションスクールをめぐる言説とナショナリズム—1933年の大島高等女学校廃校運動を事例に一—

◇6月18日 日曜日

午前部

●第1会場

第二共通棟1階（411講義室）

【自由論題】

〔座長：天野宏司〕

105（10：00－10：30）服部垂由未（愛知県立大）：明治初期の信州・馬場家夫妻の旅

106（10：30－11：00）関戸明子（群馬大）：紀行文に描かれた近代の草津温泉

【共同課題】

〔座長：矢ヶ崎典隆〕

107 (11:00-11:30) 村上晴澄 (立命館大)：室町時代の紀行文からみる海の道一足利義満の巖島詣を事例として一

108 (11:30-12:00) 野間晴雄 (関西大)：海を渡ったサトウキビプランテーションーギアナからバルバドス、そしてトリンダード・トバコへー

●第2会場【自由論題】

第二共通棟2階 (421 講義室)

〔座長：三木一彦〕

205 (10:00-10:30) 渡邊英明 (歴史地理学会会員)：近世中後期の武州西部における農間稼の多様性と定期市

206 (10:30-11:00) 鷺崎俊太郎 (九州大)：江戸の土地不動産における収益率と利回りの時系列分析ー賃貸・売買・抵当市場において一

〔座長：米家泰作〕

207 (11:00-11:30) 河島一仁 (立命館大)：京都における大学の歴史地理ー藩邸・公家屋敷・寺社地の転用一

208 (11:30-12:00) 山田 誠 (京都大・名誉)：戦時改描図の類型区分

午後の部

●第1会場【共同課題】*は登壇者

第二共通棟1階 (411 講義室)

〔座長：青山宏夫〕

109 (13:00-13:30) 長谷川孝治 (神戸大・名誉)：海洋波の風景と“科学”ーV.Cornishの軌跡と凝視一

110 (13:30-14:00) 鳴海邦匡 (甲南大)*・小林 茂 (大阪大・名誉)：明治初期海図・水路誌の整備過程と対外関係

〔座長：山下琢巳〕

111 (14:00-14:30) 花木宏直 (琉球大)：近代における潜水器の導入に伴う地域変容ー東京湾を中心に一

112 (14:30-15:00) 清水克志 (秀明大)：汽船による流通記録からみた沿岸集落の近代ー三浦郡松輪村を例として一

〔座長：河原典史〕

113 (15:00-15:30) 井村博宣 (日本大)：徳島県牟岐町地先海域における遊漁に関するローカルルールの形成過程

114 (15:30-16:00) 古田悦造 (東京学芸大・名誉)：明治中期の朝鮮半島西南海域における日本人漁民の入漁

●第2会場【自由論題】*は登壇者

第二共通棟2階 (421 講義室)

〔座長：岡島 建〕

209 (13:00-13:30) 長尾 武 (歴史地理学会会員)：河村瑞賢による淀川治水事業ー天和三年の巡察と貞享年間の治水工事一

210 (13:30-14:00) 宮本真二*・内野慎太郎 (以上岡山理科大)：近代以降の岡山平野における洪水浸水域の変遷とその要因の検討

211 (14:00-14:30) 水谷英志 (歴史地理学会会員)：蹉跌した岐^{ぎりゅう}笠運河ー幻の計画を解き明かした新資料

〔座長：小島泰雄〕

212 (14:30-15:00) 渋谷鎮明 (中部大)：『車窓の日本・朝鮮の巻』にみる戦前期日本人地理学者の朝鮮研究ー砺波散村地域研究所所蔵「浅香先生資料」との関連性から一

213 (15:00-15:30) 張 旭 (関西大・院): 中国の宗教建築に関する諸研究の展開と展望

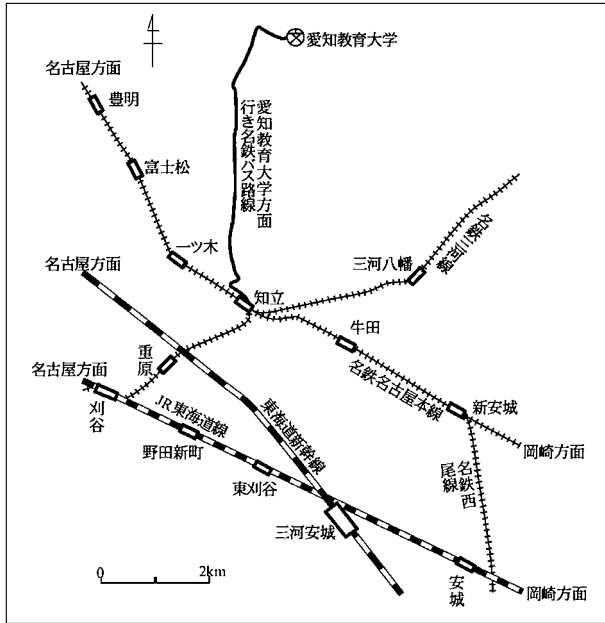
一日中研究者による視点と手法

【座長: 近藤裕幸】

214 (15:30-16:00) 伊藤裕康 (香川大): 地理教育の意義に関する一考察

215 (16:00-16:30) 片平 樹 (大府市立大府中): 体験活動によるスキー観光地における観光の通年化

ー長野県飯山市斑尾高原・戸狩を事例にー



【教育大学へのアクセス】

- ・名鉄名古屋駅～知立駅：特急利用で20分。
- ・名鉄豊橋駅～知立駅：特急利用で31分。
- ・JR刈谷駅～知立駅：名鉄電車利用で約6分。
- ・知立～愛知教育大学：名鉄バス利用で約20分。
- ・名鉄日進駅～愛知教育大学：名鉄バス利用で約25分。
- ・JR刈谷駅～愛知教育大学：名鉄バス利用で約35分。

キャンパスマップ

